



日本カトリック海外宣教者を支援する会

巻頭言

## 休暇中 宣教地に思いをはせて

神言修道会 アルゼンチン東管区 北 島 泰 治

今回の休暇は宣教地を遠く離れて日本での休暇です。といっても毎日フェイスブックでやり取りをしています。日本での休暇は、ある意味宣教でもあります。アルゼンチンという宣教地で得たものを、皆さんに分かち合うことだからです。

かつては、私は自分の教会生活の中で、神様と生きているという実感をつかみたいと思っていました。でも62歳で倒れて以来、力を抜いてゆっくり生きようと思うようになりました。力を抜いた時、自分を支えている信者さんのことが目に留まるようになりました。そして一体感を感じました。みんな家族、友人、そして仲間なんだと！宣教生活は長い道のりですから、自分の思いで気負うことなく、細く長くということが必要だと思います。

また宣教をしていると、何かにつけ否定的に物事を考えるようになることもあります。そんな時、イエス様の生き方に倣って前向きに肯定的に生きることも大切なことです。これはインドに行った時に聞いた話です。ある日宣教に出かける若者に、師が「宣教地で人にたたかれることがあったらどうしますか」と尋ねると、若者は「神に感謝します」と答えました。「それは棒でたたいているわけではないからです」と。師は感心して「棒で殴られたらどうしますか」

♡♡ もくじ ♡♡

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 巻頭言 .....             | 1  |
| 第65回運営委員会議事録 .....    | 3  |
| 宣教者からのお便り .....       | 9  |
| 国内からのお便り .....        | 12 |
| ザメッセージ .....          | 14 |
| ECHO .....            | 14 |
| こんにちは！お久しぶりです!! ..... | 15 |
| 新入会員・事務局より .....      | 16 |



と聞きました。「神に感謝します」。そして「人がナイフで傷つけているわけではないので」と答えました。さらに続けて師は、「では、ナイフで傷つけたとしたら？」若者は前と同じように「神に感謝します」と答えました。「いつか人は死ぬものです。でも私は自分の命を自分で絶つのではないからです」と答えました。師は「彼はきっといい宣教者になれるでしょう」と言いました。

私たちには生きていく日々いろいろなことが起こります。でもその物事には善も悪もないのです。ただ私たちがイエス様の思いに心を開いて、受け入れるしかないのです。それはすべてイエス様からの贈り物で、耐え忍ぶ生きざまにこそ聖霊の力が宿るのでしょうから。

もう一つのお話。現地では高齢者の識字率が低いように思います。知り合いのおじいさんが本屋の店頭飾りにあるベストセラーの著者の写真を見ていました。何を思ったのか、その本屋で読み書きの練習帳を買って、塾に通うようになったのです。そして仲間のおじいさんとクロスワードパズルを楽しむようになったのです。易しい本から始めて、すっかり字を読めるようになり、そしてあのベストセラーを読み通したのです。

その翌日、近くのバーに来ていたその著者にサインを求めました。「すべて読んだの？」著者が聞くと、おじいさんは微笑みながらうなずきました。するとその著者は涙ぐみながら、おじいさんをハグしました。おじいさんはその著者のお父さんだったのです。時には実現できそうもない困難なことがあります。それから逃げずに努力することで道は開けるものです。その困難さに向かってゆく力を、いつも聖霊は与えてくれるのだと思います。イエス様からの贈り物として。

共に生きるということは、言葉ではよく聞きますが、それは仲間として生きていくという思いに始まります。現地では治安があまりよくなくて、私も今キックボクシングをやっています。ある貧しい兄弟もそうした理由からボクシングを始めました。兄は練習のまいがあつてその地区のチャンピオンになりました。弟の誇りです。ある夜、帰宅途中、一人の若者が近づいてきて、金を出すように迫りました。すると兄はためらうことなくお金を差し出しました。弟はどうして殴らなかつたのか尋ねました。「彼はただお腹がすいていただけなのさ！」と兄は笑って答えました。今を共に生きていく私たちは、人を敵にすべきではないのです。戦うべきは自分自身なのです。

今の自分の人生に起こる困難に立ち向かっていくことこそが、聖霊の力に満たされて生きることなのです。人はどう生きたかという結果ではなく、そう生きようとしたその過程に救いがあるのだと思います。信者の共同体の一員として迎えられ、その共同体の宣教司祭として生きることによって導いてくださった聖霊に、心から感謝せずにはいられません。

## □■□ 第 65 回運営委員会議事録 □■□

日 時：2017 年 6 月 17 日（土） 15:00~16:30

場 所：ヨゼフ修道院 2 階会議室

議 事

### I. 2016 年度活動報告（2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日）

内容は例年の通りで、2016 年度援助総額は、3,325,620 円

提案の資料の通り、承認された。

所在地：東京都港区六本木 4-2-39

委 員：顧問司教：押川壽夫司教（那覇教区）

会 長：M. マタタ神父（淳心会）

運営委員：井上信一、井上穂子、川俣恭子（礼拝会）桐野 香（マリアの宣教師フランススコ修道会）、諏訪なほみ、長井 甫、波多野光男、波多野真理子、牧野ゆみ子、島上麻子、友松真千代、山田真知子、八幡とも子

会 議：運営委員会開催 2016 年 6 月 18 日、9 月 17 日、12 月 10 日、2017 年 3 月 18 日

諸活動：1) 広報活動

①宣教地からのレポートと国内会員の声などを掲載した広報誌「きずな」を年 4 回（6、9、12、3 月）発行し、国内会員と海外で働く宣教師に送付し相互の交流と宣教師の現地活動を、日本の多くの人に伝えた。

ホームページも定期的に更新。会員外にも広く活動を告知。

②海外宣教師のお話を聞く会

2016 年 9 月 22 日（木）ニコラバレのホールにおいてブラジル在住の佐々木治夫神父の活動映画を上映し、映画制作の岡村淳監督とシスター日高和子（聖心侍女修道会）のお話を聞いた。100 名ほど参加。

2) 援助活動

世界各地の宣教師から申請のあった援助について、資料を基にして実情や内容について運営委員会で検討し、緊急性や必要性の高いものから援助を決定し、実行。当年度の支援総額 3,325,620 円で、その詳細は別紙の通り。（P4）

3) 宣教師への支援活動

寄付された雑誌や、日本のカレンダーをアフリカ、南米の国中心にお送りした。カトリック新聞等もお送りした。

4) その他

- ・宣教師の事務局訪問も多い。宣教師達に直接送られている会報「きずな」は他の宣教師の様子を知ることや宣教地での交流を生み、事務局、会員と繋がることで宣教師支援となっている。
- ・各宣教師にクリスマスカードを送った。

- ・教会バザー：徳田教会のバザーに参加し、収益金の目的だけでなく、当会の宣伝、啓発にも寄与することができた。

統計 会員数 法人・団体 1,592 個人 575 賛助 57 総計 2,224

## II. 2016年度決算報告

2016年度予算額に対し、援助申請が少なく、次年度への繰越金が、多くなった。  
原案通り、承認された。

### 2016年度 会計決算

#### (1)入金の部

海外宣教者を支援する会

(金額単位：円)

| 項目      | 2016年度予算額  | 2016年度決算額  | 摘要 |
|---------|------------|------------|----|
| 会費寄付金入金 | 9,500,000  | 9,322,886  |    |
| 基金取崩し   | 0          | 0          |    |
| 雑収入     | 0          | 0          |    |
| 預け金利子   | 300        | 11         |    |
| 前年度剰余金  | 962,920    | 962,920    |    |
| 合計      | 10,463,220 | 10,285,817 |    |

#### (2)出金の部

(金額単位：円)

| 項目   | 2016年度予算額 | 2016年度決算額 | 摘要                      |                   |
|------|-----------|-----------|-------------------------|-------------------|
| 援助費  | 6,000,000 | 3,325,620 | 援助申請が少なかった              |                   |
| 研修費  | 60,000    | 56,454    | 講演会                     |                   |
| 基金繰入 | 0         | 0         |                         |                   |
| 運営経費 | 広報        | 800,000   | 739,752                 | 「きずな」年4回発行・新聞広告   |
|      | 印刷費       | 430,000   | 515,154                 | 封筒・宛名印刷・コピー       |
|      | 通信費       | 1,380,000 | 1,318,634               | 「きずな」国内外発送等送料・電話代 |
|      | 事務用品費     | 20,000    | 16,999                  | 宛名シール・コピー用紙等      |
|      | 維持管理費     | 1,390,000 | 1,484,226               | 事務所維持費、期越し11万円含む  |
|      | 支払手数料     | 100,000   | 97,618                  | 振込・送金手数料          |
|      | 交通費       | 200,000   | 155,568                 | 発送・会議・事務局         |
| 会議費  | 35,000    | 15,000    | 運営委員会年4回 2016年6月分2017年へ |                   |

|        |            |            |               |
|--------|------------|------------|---------------|
| 雑費     | 20,000     | 26,977     | 瀬田発送費 他       |
| 備品     | 10,000     | 91,713     | 古いパソコンが壊れ急遽購入 |
| 小計     | 4,385,000  | 4,461,641  |               |
| 当期支出合計 | 10,445,000 | 7,843,715  |               |
| 次期剰余金  | 18,220     | 2,442,102  |               |
| 合計     | 10,463,220 | 10,285,817 |               |

### 2016年度援助費

| NO. | 国名         | 申請者/申請内容  | 援助額      |
|-----|------------|---|----------|
| 1   | ウガンダ(アフリカ) | シスター太田伊杜子(援助修道会)カキラにある聖テレザカトリック教会主任司祭から宣教のため各家庭に聖書200冊を。1冊¥1,200。   | ¥247,000 |
| 2   | カンボジア      | シスター橋本進子(シヨファイユの幼きイエズス修道会)カンボートカトリックセンター図書館の本代、新聞代、雑誌1年分。5つの村の図書館勤務者手当、タケオ州、カンボート州の7つの村に通うためのガソリン代。1ℓ= \$ 1 | ¥826,410 |
| 3   | チャド(アフリカ)  | シスター泉淑美(シヨファイユの幼きイエズス修道会)小教区宿泊センター60床のベッドマットレス半分の30枚分購入費用。  | ¥92,999  |
| 4   | ドミニカ共和国    | シスター小森雅子(シヨファイユの幼きイエズス修道会)サンティアゴ シェンフエゴ地区4つの教会の青年司牧のため、リーダー養成費。(研修費、交通費、資料準備費、活動費)。\$ 3, 000                | ¥315,240 |
| 5   | 南アフリカ共和国   | シスター吉田彰子(聖霊奉侍布教修道会)首都プレトリアの本部から良くない公共交通機関のため、移動手段の古い自動車を買換える費用の一部。修理費に追われてしまう。                              | ¥211,240 |
| 6   | ボリビア       | シスター竹山敏江(サレジオン・シスターズ)浮浪児施設カーザマインでの家庭科授業の教材費に対する援助 年間 \$ 15/1人4学年56人分840ドルを2016, 2017年分                      | ¥199,516 |
| 7   | コンゴ民主共和国   | シスター佐野浩子(マリアの宣教者フランシスコ修道会)ルブンバシの郊外にある農場Kilobelobelにて農業推進と栄養不良の子供達の援助と村人の生活援助のため大豆、ひまわりの油を絞る機械購入費用として。       | ¥583,900 |
| 8   | アルゼンチン     | 北島泰治神父(神言会)ミシオネス(アルゼンチン)よりエルドラド、パラグアイ ピラボとラパツの教会までの交通費、及びガソリン代と車の維持費。                                       | ¥345,600 |
| 9   | ボリビア       | ボリビア倉橋輝信神父(サレジオ会)サンタクルス市移住地、日系人信徒司牧のためのガソリン代、運転手日当など \$ 950。アルゼンチン、ブエノスアイレス日本人共同体司牧のための旅費 \$ 475。           | ¥164,160 |

|    |       |   |            |
|----|-------|---|------------|
| 10 | カンボジア | 井手司(JLMM)コンポソルアン水上教会の建物土台である大きな箱の補修(材料+工賃)\$970。教会建物ソーラーパネル設置費用\$805。 | ¥206,492   |
| 11 | 日本    | 日本のカレンダー・カトリック雑誌・カトリック新聞・クリスマスカード等、宣教者への発送費用。                         | ¥133,063   |
| 合計 |       |   | ¥3,325,620 |

\*レートは一律ではありません。

### 2016年度 貸借対照表

2017年3月31日現在  
(金銭単位 円)

| 資産の部          |           | 負債及び剰余金の部 |           |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 郵便局振替貯金       | 812,456   | 期末剰余金     | 2,442,102 |
| みずほ銀行高田馬場駅前支店 | 1,579,142 |           |           |
| 小口現金          | 50,504    |           |           |
| 合計            | 2,442,102 | 合計        | 2,442,102 |

#### 援助基金内訳

|                    | 金額単位(円)    | 金額単位(ドル) |
|--------------------|------------|----------|
| 郵貯銀行               | 9,625,068  |          |
| 三菱東京UFJ銀行 普通預金     | 4,326,715  |          |
| 小計                 | 13,951,783 |          |
| みずほ銀行高田馬場支店 外貨普通預金 | 955,782    | 8,184.47 |
| 合計(参考金額)           | 14,907,565 | 8,184.47 |

#### 援助基金推移詳細

|           |         |            |          |
|-----------|---------|------------|----------|
| 郵貯銀行      | 前年度繰り越し | 9,624,592  |          |
|           | 利息      | 476        |          |
|           | 小計      | 9,625,068  |          |
| 三菱東京UFJ銀行 | 前年度繰り越し | 4,326,679  |          |
|           | 寄付      | 0          |          |
|           | 利息      | 36         |          |
|           | 経常勘定へ   | 0          |          |
|           | 小計      | 4,326,715  |          |
| みずほ銀行外貨預金 | 前年度繰り越し | 953,812    | 8,167.60 |
|           | 利息      | 1,970      | 16.87    |
|           | 小計      | 955,782    | 8,184.47 |
|           | 総計      | 14,907,565 |          |

\* (1 \$ = ¥116.78) 3月31日現在

## 2016年度 会計監査報告

2016年度会計報告を監査したところ適正であることを認めました。

2017年5月23日

監査役 長井 甫



### Ⅲ. 2017年度の活動計画・予算審議

活動計画は、例年の通り。新規・停止の活動は、無し。

予算については、繰越金の増、寄付金の入金は、大口の寄付先が、寄付終了の為減、  
援助費については、増額予算を設定。

原案通り、承認された。

## 2017年度 会計予算表

### (1)入金の部

(金額単位：円)

| 項目      | 2016年度決算額  | 2017年度予算額  | 摘要             |
|---------|------------|------------|----------------|
| 会費寄付金入金 | 9,322,886  | 8,500,000  | 大口100万円終了決定のため |
| 基金取崩し   | 0          | 0          |                |
| 雑収入     | 0          | 0          |                |
| 預け金利子   | 11         | 11         |                |
| 前年度剰余金  | 962,920    | 2,442,102  |                |
| 合計      | 10,285,817 | 10,942,113 |                |

### (2)出金の部

(金額単位：円)

| 項目   | 2016年度決算額 | 2017年度予算額 | 摘要                      |
|------|-----------|-----------|-------------------------|
| 援助費  | 3,325,620 | 6,500,000 |                         |
| 研修費  | 56,454    | 60,000    | 講演会講師交通費、謝礼他            |
| 基金繰入 | 0         | 0         |                         |
| 広報   | 739,752   | 740,000   | 「きずな」年4回発行・広告・新聞        |
| 印刷費  | 515,154   | 520,000   | 封筒・宛名印刷・コピー             |
| 通信費  | 1,318,634 | 1,340,000 | 「きずな」国内外送料・電話・領収書・郵便値上げ |

|                  |            |            |           |                  |
|------------------|------------|------------|-----------|------------------|
| 運<br>営<br>経<br>費 | 事務用品費      | 16,999     | 20,000    | 宛名・コピー用紙・ソフト他    |
|                  | 維持管理費      | 1,484,226  | 1,418,000 | 事務所維持費           |
|                  | 支払手数料      | 97,618     | 100,000   | 振込・送金手数料         |
|                  | 交通費        | 155,568    | 160,000   | 「きずな」発送・会議参加他    |
|                  | 会議費        | 15,000     | 25,000    | 運営委員会年4回＋昨年度の期越し |
|                  | 雑費         | 26,977     | 30,000    | 弔慰金他             |
|                  | 備品         | 91,713     | 20,000    | PC周辺機器           |
|                  | 小計         | 4,461,641  | 4,373,000 |                  |
| 当期支出合計           | 7,843,715  | 10,933,000 |           |                  |
| 次期剰余金            | 2,442,102  | 9,113      |           |                  |
| 合計               | 10,285,817 | 10,942,113 |           |                  |

#### IV. 「きずな」139号について

現地からのお便りが少なかったが、「巻頭言」、派遣中のシスターや信徒  
帰国した宣教者からのお便り、読者の原稿もあり、16頁となった。

#### V. 「きずな」140号について

巻頭言は、アルゼンチン北島泰治神父にお願いする。

#### VI. 援助申請の審議

きずな139号記載の南スーダン共和国ジュバ Sr. 下崎優子への緊急援助申請  
委員のネットによる運営委員会にて、2017年4月21日承認分のみ。

#### VII. その他

##### 1) 2017年の「宣教者のお話を聞く会」について

9月23日(土)秋分の日、四谷のニコラバレを会場として行う。

座談会形式で、帰国した、宣教者複数名を招き行う事とした。詳細は、検討の上、  
決定しきずな140号に掲載。

##### 2) 「きずな139号」発送について

\*国内便は6月1日(木)にシスター含む19名のボランティアで、瀬田より3,169通  
発送した。

\*きずな138号のボランティア募集で、8名の方が新たに加わってくださりスペースを  
広げてスムーズに完了した。

\*海外便と大口は、6月6日(火)にボランティア3名で事務所より発送した。

##### 3) 事務局 夏休み 8月11日(金)～8月15日(火)

\*次回運営委員会日時 9月9日(土)15時から



## 宣教者からのお便り



シエラレオネ ◆ルンサ◆

### 早速のお見舞いありがとう!!

御聖体の宣教クララ修道会 吉田 富美子

8月13日(日)の明け方にフリータウンで土砂災害と洪水が発生しました。多くの皆様からご心配をいただきましたこと、感謝いたします。私たちのいるルンサからは100キロほど離れており、今回の大雨の被害はありませんでした。

先日用事でフリータウンに行き、地すべりの現場近くを通りました。見慣れていた山の一部が大きく崩落しており、いつも通りながら危ないな、と見ていたところでした。新興住宅地で、急な谷のようなところに、下から上まで這いつくばるように、建設ラッシュが続いていたところです。ちょうど重機が入り、遺体の捜索が始まっていました。

近くの人に話を聞くと、実際に何軒の家があり、何人が住んでいたか確かな情報はないそうです。フリータウンの知人の話では、友人の家族15人全員が家と共に土砂に埋まり、亡くなられたとのことでした。このため、午前中だけ商売をし、午後からは犠牲者を悼み、モスクにお祈りに行くと言ってました。山を切り開いて造成した住宅地、道路など新たな地すべりが起こってもおかしくない場所が、あちらこちらに見受けられます。

国立病院の周りは、犠牲者の確認をする人々

で混雑し、救急車も次々に犠牲者を運び込んでいました。なんだかエボラのとくと錯覚するような救急車のサイレンが行き来するフリータウンの町でした。情報はいろいろですが、犠牲者はすでに1,000人を超えたとの情報もあります。

16日には、大統領令で、犠牲者の冥福を祈り、正午に1分間の黙祷を捧げる、国中で特別な祈りの日となっております。

南アフリカ ◆プレトリア◆

### ついに新車を購入できました!

聖霊奉侍布教修道女会 吉田 彰子

こんにちは!長い間お便りせずすみません。昨年の10月に車買い替え資金の一部2,000ドルをご支援いただきましたが、残りの資金がなかなかいただけず、とうとう2017年6月中旬になって買い求めることができました。ご支援、本当にありがとうございます。ご報告も遅れてすみませんでした。とにかく値上がりには驚かされ、また泣かされました。車は大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



私は準管区共同体からこの1年、別の支部に転任となりました。

南スーダンの修道院で避難民のために働くシスター

ひと

しもさき 下崎 優子 さん(50)



内戦が続く南スーダンで、修道院のシスターとして戦火を逃れた人々を支える。周囲では今も混乱が続くが、「いつも笑顔でいるように努めています」。

2012年1月、所属する「イエスのカリタス修道女会」に打診され、東京都杉並区から首都圏外郊外の修道院に赴任した。国連平和維持活動(PKO)に参加する

自衛隊が派遣されたのと同時期、空襲で偶然会った自衛隊員が「同じ日本人だから」と毎週修道院にボランティアに来てくれ、「何度も勇気づけられた」。

ジュバで大規模な戦闘が起きた昨年7月、修道院を挟んで政府軍と反政府勢力が銃撃戦に、教会や付属の学校にも、傷を負った多くの住民が逃げ込んできた。死を覚悟しながら、手当てをする看護部を手伝った。戦闘が収まると、市場で食料を買い集め、避難してきた人たちに配った。「逃げるに一緒にいること、それが私にできるすべてでした」。

13年末からの内戦で、人口約1200万人のうち約400万人が家を追われ、国内外で避難生活を送る。それでも、希望は捨てない。「人々は勤勉で粘り強い。資源も豊富。技術者さえ育てば、きつと豊かな国になるはず」。

任期はない。自衛隊は帰ったけれど、自分が居るべき場所は日本ではなく南スーダン。その自分に言い聞かせている。

文三 植英之 写真・杉本 康弘

多額のご支援に、まずびっくりし、両親はじめ村人も立ち上がりました。1家族につき100,000ルピア集めようと、親たち自身が集め始め、基礎工事の材料集め、人力も無償提供、村中が子供たちへの教育の協力の雰

インドネシア ◆ジャカルタ◆

あと一息で完成！

聖心会 井上 千壽代

ご支援いただいたゴロモンコック小学校のことですが、85%出来上がった状態になっています。一応形ができたというので、5月2日に建物の祝別式が行なわれ、ジャカルタから3人の支援グループ代表が参加しました。伝統的な聖歌と、子供たちの奉献の踊りもありました。司教様の代理の方がいらしてくださり、子供たちの教育のこと、環境の大事なことを話してくださいました。

この学校の校舎の一部の再建は、ただ先生や生徒たちの喜びだけでなく、村中の喜びとなりました。最初に支援する会がお送りくださった

囲気が育ったわけです。

さらに、地方自治体もこれまで無視していたのに、学校の周りにしっかりと丈夫な塀を建ててくれました。教会もその壁に沿って、木を植えてくださいました。というわけで、このプロジェクトは、ゴロモンコックの村を改革したすばらしいものとなりました。いまや校舎の周りには、かわいいお花がたくさん咲いています。子供たちも笑顔いっぱい学校にやってきます。この子供たちの中から、いいリーダーが生まれますように祈っています。

本当に支援する会の皆様のおかげです。あとは、お手洗いを3ユニット建てるのと、天井を張ることが残っています。300人の生徒に1ユニットのトイレしかなかったのが、先生も子供たちも大喜びです。完成時にはまたご報告させていただきますが、本当にありがとうございました。

カンボジア ◆コンボンルアン◆

## ソーラーパネルのおかげで快適に

JLMM (信徒宣教会) 井手 司

今年も「支援する会」の皆様からのご支援で、教会の改修工事を行ないました。内容は建物の水に浸かっている土台部分の補修と、ソーラーパネル設置工事です。信徒代表から相談があったとき、「木の箱はできてから3年しか経っていないのに、補修が必要か」と尋ねたところ、今までは定期的な補修は余り行なわれなかった。そのため防腐剤がはげ、木材が腐食し、床下への浸水が始まってから修理をしてきたが、そうなるからでは莫大な費用がかかるとのこと。神父様、信徒代表の方たちと相談して補修工事を決定しました。約1週間で工事は終了しました。

これまで教会の電気は、発電機と小さなソーラーパネルを使っていました。宿泊される来客のときやゴミサのときに使用していました。私一人が教会に泊まるときは、ソーラーパネルからの電気を使用していましたが、得られる電気は十分でなく、暑くてもガマンし、暗闇の中で寝ることもありました。今年10年使った発電機が壊れました。話し合いの中で、今後は発電機を使わず、大きなソーラーパネルを設置する意見が出されました。神父様からも許可をいただくことができ、設置が決まりました。今では昼も夜も騒音や振動を気にすることなく、ゴミサが行なわれています。

工事終了後、新たな問題が持ち上がりました。それは泥棒です。教会の改修やソーラーパネル



コンボンルアン水上教会と学校

の設置、スペインからの支援で通学船の修理を行なったため、教会にはお金があるという噂が流れ、また、ソーラーパネル設置に伴い、バッテリーや機材など高価なものが設置されているため、泥棒が狙っていると聞きました。私が教会に滞在しているときも、夜中に誰か来ている気配がしました。教会の戸締りもこれまで以上に強化していくことになりました。村人を泥棒と疑いたくはないですが、防犯対策をしっかり行なうことで、泥棒が減ることを祈っています。

東ティモール ◆ロスパロマス◆

## 栄養プログラムの検討を重ねて

JLMM (信徒宣教会) 深堀 夢衣

間もなく5年に1度の選挙が行なわれます。どの政党が政権をとり、どんな政策を行なうか、みんな興味津々です。村全体が盛り上がり、政党キャンペーンには長距離を歩いて参加しています。そんなとき、NGOの活動はうまくいきません。ですから、時間のあるときに、栄養プログラムの進め方について会議を重ねています。

2015年から始まった味の素事業も来年3月で修了を迎えます。事業の目標は「イリオマー

ル準郡にいる5歳未満の低身長児の割合を6%下げること]としています。この2年間は子供の成長(体重・身長・上腕)を記録し、母親への栄養、調理の指導も実施してきました。が、結果は芳しくありません。

問題の一つは住民がプロモーションに対して飽きてしまっていること。例えば紙芝居のような教材を用意して指導するのですが、「もうそんなの何回も聞いてわかってるよー!」という意見が。二つ目は栄養指導しても、なかなかそ



ご飯と空心菜の炒め物

の通りの食事づくりができないということ。ご飯と野菜はあるけどたんぱく質のある肉、豆、卵などはお金がなくて手に入らない、など。三つ目は毎月身体検査を行なうのですが、毎月来る親子は少なく、その後の様子が分からないことです。これらの問題点はこのプログラムの関係者は共有していますが、ある担当者は「毎月親たちに来てほしいなら、塩や味の素を配布するから来て、と呼びかけるのはどう?」とのこと。この方法を取り入れれば、確かに人は来るかも知れませんが、物でつるようなことはしたくありません。

独立して15年、そろそろ自立に向けた取り組みをしてほしいところですが、なかなか進みません。物の支援、お金の支援、依存されないような支援、彼らが自立するような支援、、どうすればよいのか悩みながら毎日を過ごしています。

## 国内からのお便り

### フィリピンから帰国しました

善きサマリア人会 迎 衛 子

いつも皆様からのご支援、お祈りに心から感謝しております。「きずな」やクリスマス時期に送られるご絵カレンダーもありがとうございました。これらを通して世界各地で働いていらっしゃる皆様と一つになり、私自身、働く力と励ましをいただきました。

さてこの度、17年間のフィリピン・バコロドでの宣教を終え、帰国いたしました。現地での私の主な奉仕職は、幼稚園で働くことでした。そこは経済的に恵まれない家庭の子供たちのための幼稚園ですが、逆に私が、子供たちや保護者からたくさんのことを学びました。特に、日常の貧困や困難に負けず、いつも深い信仰と笑顔と共に、希望と勇気をもって、明るく生きる姿には心を動かされ、力をいただけてきました。

「支援する会」の皆様、これからも世界で働く宣教者のために、お祈りとご支援を続けてくださいますようお願いいたします。皆様の上に、神様の豊かなお恵みがありますようお祈り申し上げます。

## 「宣教者とは誰のことですか?」「はい、私たちです!」

後藤 美佐子 (横浜教区 雪ノ下教会)

母方の親戚にはシスター3名の召し出しがある。1名は国内、2名が海外に派遣され、それぞれブラジル約30年、ペルー約15年の宣教を終え現在は国内に。ブラジルで30年のおばは、奥へ奥へと異動し、水路と空路の移動のみのアマゾンのど真ん中、アラウアリ地区で活動した。4年毎の帰国の度、おばは必ず、「双子の姉」である私の母を訪問、私たちは地図を広げてブラジルの話を聞いた。「ジャングルの中で宣教、どこで何をやっているの?」などと、毎回山盛りの質問をした。

あるときこんな話が出た。「ブラジルに着いて間もないころ、ミサで司祭が『宣教者とは誰のことですか?』と信徒に質問したとき、『私たちです!』とすぐ答えが返ってきたの。自分たちが宣教者だと分かっているのよ」と。え! 私たちが宣教者?! それ以来、私の脳天で踊る「宣教」の文字である。

ブラジルにいたおばに、「おば(国内にいた)が共同体から離れてホームに移ったのよ。一般のホームに入り、さびしいんじゃないかしら?」と言ったところ、「彼女はホームでその立ち姿で宣教しているのよ。宣教の最前線で喜びのうちに!」と言われ、宣教とはそういうことかと気がついた。

家族でたくさんを知り、気がついた。宣教者の帰国を当たり前のように受け止めていたが、そうではないと。皆さんに祈りで支えていただいていたのである。海外ミッションを祈りで支えていただいたのだ。感謝! 私たちも野に放たれた小さい宣教者である。小さい祈りも支援も積もれば山となる。現在海外に派遣されている宣教者の方々に心を留め、「きずな」の発送作業に向き合おう! 「祈りで支える」は、いま私たちができることである。

## 「きずな」の発送作業

マリアの宣教者フランシスコ修道会 齋藤 ハツエ

「きずな」を会員の皆様、司教様、修道院、教会へ発送する作業は、毎回ボランティアのご協力でマリアの宣教者フランシスコ修道会(東京・世田谷)で行なっています。1982年に「きずな」第1号が発行されたときには若かった私たちも、今ではグループの平均年齢は70代となりました。風邪などの流行期には体調を崩される方が出て、10人未満のメンバーで3,000通以上の発送は、かなりの労働となりました。



3月に発行された138号でボランティア募集をしたところ、早速8人の方がご参加くださり、139号の発送をしていただきました。雪ノ下教会をはじめ鷺沼、下井草、戸塚教会所属の方々にご参加いただき、活動を広く知っていただける機会になると、期待しております。また、エスコラピラス修道女会の若い志願者(ベトナムの方々)2人の、思いがけないご参加もうれし

いことでした。心を寄せてくださった方、ご参加くださった方々に感謝をこめてご報告させていただきます。

## 初参加の発送作業

エスコラピラス修道女会志願者 レティミーハウ

6月1日、私は海外で宣教をしている人たちを支援する会のお手伝いをしに行きました。許可してくださったのですが、電車の中で私はことばがわからないし、知っている人もいないし、道もあまりよく知らないし。だからとても心配しました。でも行ってみたら喜んで楽しい時を過ごしました。

フランススコ修道女会についた時、にぎやかでみんなの顔がにこにこ笑いました。仕事でみんな働きながら話して、人間関係のことはしんせつでけんそんでいっしょうけんめいしました。昼食の時間になって、いっしょにいただきました。たのしかったです。私は自分の修道会へ帰らなければなりません。この次もこの仕事をさせてほしいです。かんきょうがちがっても、国がちがっても、言語がちがってもみんなあたたかく私をよろこんでむかえてくれました。感動しました。ひとりひとりの中に神様がいるのがわかりました。神様は私に不思議なことをくださいました。そして、私はみんなから新しいことを学びました。ほんとにどうもありがとうございます。 (原文のまま)



### \*フィリピン 南コタバト

御受難修道女会 松田 翠

いつも「きずな」やカトリック雑誌を送っていただきありがとうございます。3,000通の「きずな」を発送するのに、多くのボランティアがかかわっているのを知り、驚いています。本当にありがとうございます。

### \*シエラレオネ (現在帰国中)

御聖体の宣教クララ修道会 白幡和子

2月に右膝の人口関節の手術を受け、1か月後にリハビリ専門の病院に移り、6月に退院しました。多くの方々のお祈りのおかげと感謝いたしております。一日もシエラレオネのことを忘れることはありません。今は自主トレですが、あわてず、あせらず、あきらめずをモットーに努力してまいります。

★139号の南スーダンのシスター下崎、パキスタンのシスター黒田の記事を読み、深い感銘を受けました。小額ですがカンパを送ります。少しでもシスター方の活動のお役に立てていただければ幸いです。(兵庫県神戸市 藤田ふみ子)

★海外でお働きの皆様に励まされて、無事手術も快復して感謝しております。ブラジルの佐々木神父様との出会いは35年前になりますが、成城教会でお招きを受けて、喜多見のお宅にうかがい、楽しかったひとときを思い出しております。感謝のうちに皆様のご健康をお祈りしております。(長崎県長崎市 西村佳恵)

★139号の事務所訪問のシスター平田は、私が昔上智大のコミュニティーカレッジでポルトガル語をお教えした生徒さんでしたでしょうか？お元気で頑張っていらっしゃるお姿を、なつか

しく拝見させていただきました。

(東京都三鷹市 東田泰子)

★教会にて「きずな」を拝見しました。わずかですが、少しでもお力になればとお送りいたします。

(東京都目黒区 加藤達男)

★「フマニタス助ける会」の会計をしております、佐々木神父様のご苦勞がよくわかります。

(東京都八王子市 岡田和子)

★先日多摩教会で、支援する会の運営委員の方に「海外宣教のお話」をうかがい、大変心を動

かされました。少しですが、皆様の活動の一助になることを願って送金いたします。

(東京都多摩市 北村妙子)

★支援を待つ人々と、支援のために働く人々の上に祝福が豊かに注がれますように。

(東京都西東京市 高山協子)

★会員の田中和美さんを通して「海外宣教者を支援する会」を知りました。すでに記事を書かれている何人かの宣教者も知っていて、とても親しみを感ずります。(兵庫県尼崎市 薬師昭子)



## 事務局訪問の宣教者

5月16日 ————— アルゼンチン

神言修道会



Fr. 北島泰治

最近の雑感から\*神父の人生は聖書が実現している世界。だから別世界で感動ある

のみ\*小さいとき、聖母の騎士の幼稚園関係の先生で結核のコルベ神父を見た人が、自分を育ててくれた\*イザヤ書を読むと現在も実現していることが多い。

6月9日 ————— カンボジア

J L M M (信徒宣教者会)

井手 司



カンボジアでの活動は3年半経過しましたが、あと1年活動延長の予定です。学校の

修理が必要なためまた、支援をお願いするかもしれません。

6月16日 ————— チャド

シヨファイユの幼きイエズス修道会



Sr. 泉 淑美

一時帰国しましたが、本場にホッとしました。現地では緊張感が高まっていたので。日本の交通など不案内になり、外出は妹と行動を共にしています。

8月4日 ————— ボリビア

サレジオ修道会



Fr. 倉橋輝信

いつも司牧のためのご支援ありがとうございます。昨年は司祭叙階50周年、今年修道誓願60周年となりました。これまで支えてくださったボリビアそして日本の皆様に感謝いたします。(いつものハーモニカでイタリア歌曲のマンマ“お母さん”と荒城の月を演奏してくださった)

## 新入会員 (敬称略)

個人会員 16名

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 上中 めぐみ (東京都狛江市)  | 石原 貴子 (東京都小金井市)  |
| 磯谷 真理子 (東京都狛江市)  | 後藤 由美子 (東京都世田谷区) |
| 奥 賀寿子 (兵庫県西宮市)   | 北村 妙子 (東京都多摩市)   |
| 橋本 光子 (兵庫県神戸市)   | 萩原 光樹 (千葉県松戸市)   |
| 薬師 昭子 (兵庫県尼崎市)   | 加藤 達男 (東京都目黒区)   |
| 八村 美世子 (長野県軽井沢町) | 東田 泰子 (東京都三鷹市)   |
| 藤井 よし子 (東京都港区)   | 岡田 和子 (東京都八王子市)  |
| 岩谷 美彌子 (兵庫県神戸市)  | 中島 玲子 (東京都多摩市)   |

### 事務局からのお知らせとお願い

\* 宣教師のお話を聞く会を開催します。ご来場をお待ちしております。

2017年9月23日(土・祝) 14:00～16:30 東京・四谷 ニコラバレ 9F ホール  
派遣先の異なる4名のシスターによるお話を座談会形式で行ないます。

Sr. 黒田小夜子 (マリアの宣教師フランシスコ修道会) Sr. 白幡和子 (御聖体の宣教クララ修道会)

Sr. 末吉美津子 (シャルトル聖パウロ修道女会) Sr. 中出敬子 (聖心侍女修道会)

\* いつも会費を送金いただきありがとうございます。領収書の発行についてですが、これまで  
はがきで領収書をお送りしておりますが、最近、会員の皆様から「領収書は不要です」との  
ご意見を多数いただいております。委員会でも話し合いましたが、10月から経費節減のため、  
領収書の発行を見合わせることにいたしました。ただし、領収書の必要な方はご遠慮なくお  
申し出ください。皆様には送金書の保管をお願いいたします。

\* 書き損じのはがきや未使用の切手など、ご寄付いただけたら幸いです。

発行：日本カトリック海外宣教師を支援する会

会長 M. マタタ

〒106-0032 東京都港区六本木4-2-39

Tel. 03-5770-8753 Fax. 03-5770-8754

e-mail kaigai-senkyo@cronos.ocn.ne.jp URL <http://www.kaigai-senkyo.jp>

・銀行振替口座 みずほ銀行高田馬場支店 普通 2084112

日本カトリック海外宣教師を支援する会

・郵便振替口座 00140-5-67881 海外宣教師を支援する会